

04 和裁



一針一針、日本の伝統の技で美を仕立てる

和裁技能を身につければ、特別な設備投資の必要もなく、自宅で独立しての仕事も可能です。最近の傾向として、成人式や卒業式などの特別な日にだけ着物を着るようですが、「浴衣」のように、普段着感覚で着ることにより、個性的なおしゃれが楽しめます。日本の伝統衣装でもある着物を、いま、あなたらしく装ってみませんか。



競技概要 競技時間 9時間(1日目6時間/2日目3時間)

競技は「つけさ じょし よう あわせながぎ付下げ女子用袷長着」を縫製し、その技能を競います。一反の着物地(約12メートル)を裁断し、しるし付けまでを事前に自宅で行い、競技会場では2日間で仕立て上げます。付下げは、準礼装とされ、着用用途の広い着物です。袷長着とは裏地のついた着物のことを言います。



第30回 競技課題

Point

表地と裏地を合わせるところがポイントです。厚さや伸びの違い2種類の生地を微妙な釣り合いで縫い合わせなければならず、各選手の技能差が最も出る部分です。また、一針一針手縫いのため、全体の縫い目がまっすぐで、仕上がりの美しさも要求されます。コテ光り、焼けこげ、しみ等は大きな減点となります。

